

## 丸文、5.7GHz帯 空間伝送型ワイヤレス電力伝送 DC 1W の受電電力を実現<sup>※1</sup> ～電力の大きいアプリケーションへの導入や電力伝送エリアの拡大が可能に～

エレクトロニクス商社の丸文株式会社（代表取締役社長 兼 最高経営責任者（CEO）：飯野亨、本社：東京都中央区、以下、丸文）は、当社取り扱いメーカーの Ossia Inc.（本社：米国、CEO：Doug Stovall、以下、オシア社）が提供する空間伝送型ワイヤレス電力伝送（以下、WPT）システム Cota Real Wireless Power™（以下、Cota）のオリジナル評価キット「Marubun PRx Building and Evaluation Kit」（以下、MRx<sup>※2</sup>）において、DC 1W の受電電力を実現したことをお知らせいたします。

※1：電力伝送距離 1m において DC1W でバッテリーへ充電可能な受電能力を有する受電装置を実現

※2：MRx は当社が開発した「Marubun PRx Building and Evaluation Kit」の通称です

当社は 2020 年 6月にオシア社と戦略的パートナーシップ契約を締結いたしました。日本市場における総合的な窓口として空間伝送型ワイヤレス電力伝送システム Cota の実用化に向けて、Wireless IoT Sensor の共同開発やデモ環境の拡充等を推進してまいりました。このたび、Cota の受電機能を自社製品に組み込むことを検討しているお客様への技術支援を目的として、MRx のアンテナと受電回路に丸文独自の設計を組み込んだソリューションの開発を進め、受電性能および受電効率の向上を図った結果、DC 1W の受電を実現することができました。<sup>※3</sup> ※3：特許出願中。【図1】参照



DC 1W の受電電力の実現により、これまで当社がターゲットとしてきた IoT センサーや小型表示器といった低消費電力のアプリケーションにとどまらず、より消費電力の大きいアプリケーションへの導入や電力伝送エリアの拡大が可能となりました。例えば、モーターを駆動させるアクチュエーターデバイスのような消費電力の大きいアプリケーションにおいても、本技術を組み合わせることで WPT の導入が期待できます。また、従来のターゲットであった低消費電力デバイスでも、給電対象台数の増加や送電器 1 台でカバーできる電力伝送エリアの拡大が期待できるため、より効率の良い WPT の活用が可能となります。

当社はこの技術を通じて、お客様が検討されている WPT ソリューションの実現のために、最適な提案と必要なサポートを提供してまいります。

## <オシア社について>

会社名 : Ossia Inc.  
本社 : 2425 152nd Ave NE, Suite 2425, Redmond, WA 98052, USA  
設立 : 2008 年  
代表者 : Doug Stovall CEO  
事業内容 : 特許取得の空間伝送柄ワイヤレス給電技術 Cota のライセンス提供を行う IP ベンダー。  
U R L : <https://www.ossia.com/>

## <丸文株式会社について>

本社 : 東京都中央区日本橋大伝馬町 8-1  
設立 : 1947 年  
代表者 : 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 (CEO) 飯野亨  
従業員 : 1,116 名 (連結 : 2024 年 3 月 31 日現在)  
資本金 : 62 億 1,450 万円  
売上高 : 2,364 億円 (2023 年度連結)  
事業内容 : 最先端の半導体や電子部品、電子応用機器を取り扱うエレクトロニクス商社  
東京証券取引所プライム市場に上場。(コード : 7537)  
U R L : [www.marubun.co.jp](http://www.marubun.co.jp)

丸文オリジナル Cota 評価キットに関するお問い合わせ先  
丸文株式会社 ディオネカンパニー 担当 : 越智・勝永・工藤  
TEL : 03-3639-9650 FAX : 03-5643-0354  
E-mail : [ossia@marubun.co.jp](mailto:ossia@marubun.co.jp)

このニュースリリースに関するお問い合わせ先  
丸文株式会社 経営企画部 担当 : 酒井・熊谷  
TEL: 03-3639-3010 FAX: 03-5644-7693  
E-mail: [koho@marubun.co.jp](mailto:koho@marubun.co.jp)